

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	オリンピック開催準備関係費										担当	部課名	生涯学習部東京オリンピック・パラリンピック開催準備室			
予算科目コード	会計	01	款	11	項	07	目	01	細目	004	説明	01	課等の長	赤坂 政徳	電話	6312

1. 事業概要

事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 3 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技が、藤沢市江の島で開催されることに伴い、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進に向け、ボランティア等推進計画をはじめとした各種事業計画の実行、気運醸成事業の実施、開催準備等に係る関係機関等との協議・調整を行う。						
事業目的および必要性	東京2020オリンピック競技大会・セーリング競技の会場関連自治体として開催準備等を適切に行うとともに、大会の開催を好機と捉え市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会の推進を通じて、まちの魅力を創出することを目的としている。						
対象	1. 個人	市民				429,317 人	
根拠法令等							
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 株式会社 電通東日本 ほか) (委託等内容 : 「藤沢市大会関連ボランティア等実施計画」 管理業務 ほか) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (負担金 : セーリングワールドカップシリーズ江の島大会実行委員会負担金) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード					
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援		2-1-11		「生涯学習ふじさわプラン2021」 「スポーツ推進計画：みらいふじさわスポーツ元気プラン」 「藤沢市文化芸術振興計画」			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
2020年のオリンピックに向けて活気づいていると感じますか		点	2.00 点	1.78 点	2.00 点		
		点	点	点	点		

平成30年度 支出済額 68,474 千円	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	報償費	400 千円	気運醸成事業,500日前イベント謝礼ほか
	委託料	43,966 千円	気運醸成事業,ボランティア計画ほか
	使用料及び賃借料	985 千円	電子複写機,軽自動車リースほか
	負担金補助及び交付金	10,270 千円	セーリングワールドカップ負担金ほか
その他	12,853 千円	報酬,賃金,旅費,消耗品ほか	
【参考】 令和元年度 予算額 116,601 千円	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	770 千円	講演会講師謝礼ほか
	委託料	72,454 千円	気運醸成事業,ボランティア計画ほか
	使用料及び賃借料	1,498 千円	電子複写機,軽自動車リースほか
	負担金補助及び交付金	12,270 千円	セーリングワールドカップ負担金ほか
その他	29,609 千円	報酬,賃金,旅費,消耗品ほか	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	0.00	8.00	9.00	13.00
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	1.00	2.00
合計	0.00	8.00	10.00	15.00

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	・参画プログラム説明会：30人 ・セーリングフェスタ：138人 ・ボランティアフォーラム：396人 ・セーリング魅力発見クルージング：294人 ・オリンピックサッカー教室：受講者60人，観覧300人 ・各種ボランティア講座：476人 ・パラアスリートの力：240人 ・応援団サポーター説明会：30人 ・プールでセーリング体験：受講者48人，観覧67人 ・パラリンピアンかけっこ教室：受講者63人，観覧153人 ・アスリートと考えるおもてなし：35人 ・ボッチャ競技大会：108人 ・応援団アイデアソン：185人 ・新江ノ島水族館ユニバーサル開放DAY：84人 ・オープン参加：産業フェスタ，世界一大きい金魚すくい，大会2年前イベント，パラスポーツフェスタ，みんなで踊ろう！東京五輪音頭-2020-他						
	成果目標	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値
	普及啓発事業の参加者数	人	-	1,000	1,500	2,500	
	参考又は上記指標名の設定ができない理由						
活動実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	普及啓発事業実施数	回	-	18	27	40	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	普及啓発事業の参加者数	人	-	1,291	2,471	2,707	
	数値で表せない効果						
	写真展や各種イベント出展などのオープン参加事業の参加者数						

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	126,521	120,348	204,823				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	99,551	119,238	193,744				
	事業費(支出済額-②報酬合計)	0	22,387	28,770	63,408				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	0	77,164	90,468	130,336				
	職員数(常勤 非常勤)	0.00 0.00	8.00 0.00	9.00 1.00	13.00 2.00				
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167				
	①職員給与合計(常勤)	0	72,808	82,971	119,171				
	②報酬合計(非常勤)	0	0	3,468	5,066				
	③退職金相当額	0	4,356	4,029	6,099				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	26,970	1,110	11,079				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	0	26,970	1,110	11,079				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他()	0	0	0	0					
収入	行政収益(事業収入) B	0	7,429	8,675	14,484				
	(3)現金を伴う収入 (千円)	0	7,429	8,675	14,484				
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0				
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0				
	③国庫支出金	0	0	0	0				
	④県支出金	0	7,429	8,675	14,484				
	⑤その他()	0	0	0	0				
	(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0				
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	0	119,092	111,673	190,339					
分析指標	項目	普及啓発事業の参加者数 F	単位	1,291	単位	2,471	単位	2,707	単位
			人		人		人		
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	-	98,002.32	48,704.17	75,664.20				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	420,619	280.15	425,105	261.22	427,501	443.35	429,317
受益者負担率 (C+D)/A (%)	-	0.00	0.00	0.00					

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	①市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進していくため、大会関連ボランティア等実施計画の策定、市民応援団設立準備、関連計画として、文化プログラム、教育プログラムの策定 ②周辺住民の生活環境に直接影響する江の島島内会場利用計画及び周辺の利用制限等に関する情報提供
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	①「大会関連ボランティア等実施計画」等の計画を実行に移し、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進 ②大会関係者、関係機関との協議・調整や事業計画等の策定
(3) 平成30年度末時点の課題	①市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進していくための具体的な筋道 ②周辺住民の生活環境に直接影響する江の島島内会場利用計画及び周辺の利用制限等に関する情報提供
(4) (3)解決のための今後の取組	①シテイドレッシングや事前キャンプ等、具体的な盛り上げに関する関係機関との協議・調整を進めるとともに、2020応援団 藤沢ビッグウェーブや都市ボランティア・独自ボランティア等、ボランティア活動の活性化を図り、市民参加型のオリンピック・パラリンピック競技大会を推進 ②大会関係者、関係機関との協議・調整や情報提供

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	○ ア＝法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ＝市の条例等で規定されている事業 ウ＝県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ＝国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ＝法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	○ ア＝国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ＝国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ＝国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ＝本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ＝本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	○ ア＝恒久的に実施するもの イ＝年限の定めのないもの ウ＝時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ＝時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ＝時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	○ ア＝300,000千円以上 イ＝100,000千円以上～300,000千円未満 ウ＝30,000千円以上～100,000千円未満 エ＝5,000千円以上～30,000千円未満 オ＝5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	○ ア＝80%以上 イ＝50～80%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝10～30%未満 オ＝10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	○ ア＝10%未満 イ＝10～30%未満 ウ＝30～50%未満 エ＝50～80%未満 オ＝80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会へ向け、オリンピック・パラリンピック関係事業等への参加意欲が高まっている。 ・各種目の世界大会における日本人選手の活躍、報道等が盛んになっている。 ・開催準備へ向けた大枠は定まっているものの、具体的なスケジュールがいまだ定まっていない。
他市等の事例	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の会場外自治体においては、事前キャンプの誘致等が進んでいる。
市民ニーズ	把握方法 <ul style="list-style-type: none"> ・未来につなぐ東京オリンピック・パラリンピック藤沢市支援委員会（3回開催）及び各分科会（合計7回開催） ・2020応援団 藤沢ビッグウェーブの活動 7回実施 ・各種講座・イベントでの意見、アンケート収集
	把握内容 <ul style="list-style-type: none"> ・会場周辺的环境整備をする必要がある。 ・オリンピック・パラリンピックに関わる方法について知りたい。 ・市全体として気運醸成していく必要がある。
	対応等 <ul style="list-style-type: none"> ・関係課・団体と調整の結果、トイレ改修等の環境整備に至った。 ・市民一人ひとりが東京2020大会へ関わる方法について、2020応援団 藤沢ビッグウェーブ等を通して、情報提供を行った。 ・市民協働による気運を高める事業や、セーリング競技やパラスポーツ等の普及啓発事業を実施した。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	<p>東京2020大会のセーリング競技開催会場都市としての使命を果たすため、カウントダウンイベントを始めとした40の事業を実施することで気運の醸成を図り、セーリングワールドカップシリーズでは実行委員として国際交流事業やボランティア募集などの独自の取組を実施した。</p> <p>また、平成30年度に始動した「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」では、団員数を順調に伸ばし、市長による公開記者発表やSNSを駆使した各種情報発信に努めた。その結果、都市ボランティア募集や各種イベントでは定員を大幅に超えるなど、市民参加の推進に直結しており、大会本番とそのレガシーの創出に向けて、全市的な「舵取り役」としての役割を果たすことができた。</p>	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	事業拡大
	<p>「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」を中心に事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員数の更なる拡充を図る。 ・定期的に情報提供を行い、関連イベントへの参加を促す。 ・団員自ら企画・運営する事業を展開し、ボランティア活動の活性化を推進する。 ・都市ボランティアの東京2020大会後の道筋を検討する。 <p>東京2020大会に向けた気運醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セーリング競技の更なる知名度向上を目的とした新規戦略を考案する。 ・パラリンピック競技普及啓発のための事業展開を行う。 ・事前キャンプ受入体制を整備する。 	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
(1)④	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係組織との連絡調整	無	有	3	3
(1)⑤	東京オリンピック・パラリンピックに係る各種啓発事業	有	有	3	3
(1)⑥	東京オリンピック・パラリンピックに係るボランティアの育成事業	有	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	生涯学習部	氏名	神原 勇人	確認日	2019/8/26
----	-------	----	-------	-----	-----------